

「日々の理科」(第1634号) 2018 (H30),12,29
水彩画教室「風花(かざはな)」
お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

群馬県西部では 今の時期 晴れているのに雪が舞ってくることがあります 遠くの上越国境(群馬と長野の県境の山脈)で降った雪がからっ風で飛ばされて来るのです まるで花びらが舞うように見えるので「風花」(かざはな)と呼ばれています 風花が見られると 数日後に大雪になることもあります



これが完成した絵です



1、主題の「風花」は 一番最後に不透明なペンで描きました 風に飛ばされている感じが難しいです



2、何度も描いた「御堂」ですが これが何度描いても難しいです



3、枯れた樹木 小枝が集中した梢の表現がなかなかうまくいきません



4、すっかり枯れた田んぼは 刈り取った稲の根をもう少し丁寧に描けばよかったです



5、遠くの民家 あえて丁寧に描かないようにしました 「家があるな」という程度に



6、背後の低山が一番難しいです もう少し点描風に丁寧に描くべきでした